

指定管理業務評価表

施設名	小牧市歴史館		
対象年度	令和4年度	評価担当部	教育委員会事務局
指定管理者名	一般財団法人 こまき市民文化財団		
指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日		
職員体制	常勤職員：1人 非常勤職員：4人 合計：5人 ※小牧山施設長、施設運営担当次長を含む。休館期間中は非常勤職員1人減。		

1. 利用実績

(1) 利用者数

		歴史館			総計
		個人	団体	計	
4月	大人	3,651	1,102	4,753	6,974
	小人	1,798	423	2,221	
5月	大人	4,289	1,086	5,375	7,150
	小人	1,672	103	1,775	
6月	大人	1,680	743	2,423	3,289
	小人	465	401	866	
7月	大人	1,653	448	2,101	2,619
	小人	518	0	518	
8月	大人	2,382	644	3,026	4,155
	小人	1,129	0	1,129	
9月	大人	1,979	606	2,585	3,185
	小人	600	0	600	
10月	大人	4,147	751	4,898	6,246
	小人	1,348	0	1,348	
11月	大人	3,260	948	4,208	5,453
	小人	1,193	52	1,245	
12月	大人	0	0	0	0
	小人	0	0	0	
1月	大人	0	0	0	0
	小人	0	0	0	
2月	大人	0	0	0	0
	小人	0	0	0	
3月	大人	0	0	0	0
	小人	0	0	0	
合計	大人	23,041	6,328	29,369	39,071
	小人	8,723	979	9,702	
年計		31,764	7,307	39,071	-
前年度計		33,510	9,994	43,504	-
前年度比		94.8%	73.1%	89.8%	-

(2) 増減要因

小牧市歴史館の来場者数は、令和4年度は39,071人となり、前年度より4,433人減少した。その理由としては、展示改装のため、令和4年12月1日から令和5年3月31日まで閉館したことにより、開館日数が前年度より39日減少したことによるものである。開館1日当たりの来場者数は165.6人となり、前年度の158.2人と比較して増加している。増加原因としては、ウィズコロナの浸透により、都市近郊への外出が回復したことが考えられる。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	令和4年9月1日～9月20日	回答数	51名
利用者の主な意見	施設の満足度については、非常に良かった・ますます良かったとの回答が94.1%を占めた。施設の場所の分かりやすさについては、「駐車場等の案内表示がほしい」「案内板の表示を全施設で統一してほしい」との意見があった。職員の対応等については、非常に良かった・ますます良かったとの回答が98.1%であった。施設内の環境については、非常に快適であった・ますます快適であったとの回答が86.3%を占めたが、「夏季は暑い」との意見があった。要望として、「もっと市から施設をアピールされるとよいと思う」などの意見があった。		
具体的な対応状況	案内板等の表示や展示内容については市と情報共有し、改善に向け検討を行うなどの対応に努めている。環境改善については、館内の展示改修に伴い、小牧山課において2階展示室にクーラー2基を設置、対応した。		

3. 収支の実績

(単位：千円)

		3年度 (前年決算額)	4年度 (現年決算額)	5年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	20,146	20,062	28,500	
	事業収入	36	24	300	忍者衣装試着体験料
	合計	20,182	20,086	28,800	
支 出	人件費	12,832	12,145	16,523	給料手当、福利厚生費等
	需用費	2,815	3,307	3,634	消耗品費、燃料費等
	役務費	201	92	734	通信運搬費等
	委託料	1,129	1,182	2,650	警備委託料等
	使用料及び賃借料	369	343	429	モップ及びマット借上料等
	原材料費	12	3	50	
	負担金及び補助金	0	0	0	
	報償費	0	0	0	
	事務局費按分	2,824	3,014	4,780	
合計	20,182	20,086	28,800		

4. 評価

項目	市の評価
運營業務	・法令等の遵守、報告書等の提出は適切に実施している。
維持管理業務	・施設や設備の点検、保守は適切に行っている。
自主事業	・忍者衣装試着体験を実施するなど、施設の魅力発信に努めている。
サービスの質	・利用者アンケート調査の中で、職員の対応については、利用者からも良い評価を得ている。引き続き、利用者がより快適に施設を利用できるよう努めていただきたい。
収支状況 及び 経費節減	・清掃など軽易な業務は可能な限り職員が行うことで、経費節減のための取り組みを行っている。引き続き、経費削減を意識した施設管理に努めていただきたい。
その他 (緊急時の 対応等)	・引き続き消防訓練を実施することにより、非常時、緊急時の適切な対応の強化に努めていただきたい。